

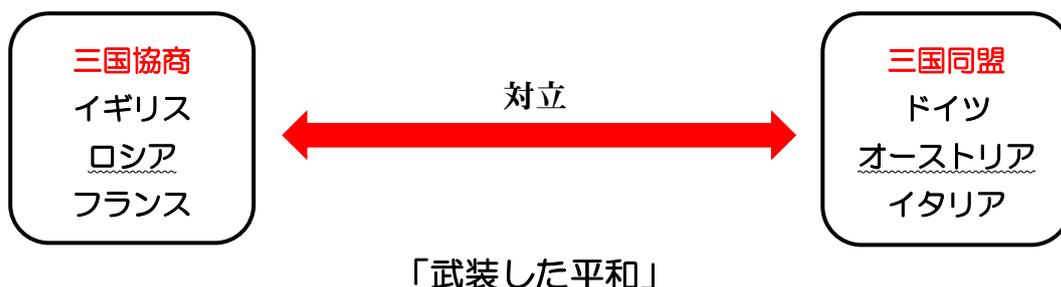
第6章 二度の世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦と日本

課題： 第一次世界大戦はどのようにして起こったのか？ 列強の関係はようになっていたのか？

1. 第一次世界大戦前夜 **教**： P.198～199

(1) 背景

- ① 産業革命→工業化が進む
- ② 原料の獲得・市場の拡大
- ③ 列強による植民地の拡大競争



(2) バルカン半島の状況 ⇨ **ヨーロッパの火薬庫**



【解説】(ノートに書かなくても良い)

トルコやバルカン半島を支配していたオスマン帝国が衰退すると、特にバルカン半島に暮らしていたスラブ民族の独立運動が盛んになった。スラブ民族を支援するロシアと、独立運動をおさえ込みたいオーストリアの対立が深まっていた…まさに、何か武力による対立や衝突が起きれば、すぐにも戦争になってしまうような状況=**ヨーロッパの火薬庫**と呼ばれた。

2. 第一次世界大戦の勃発

(1) サラエボ事件(1914年)

- …オーストリア皇太子夫妻をスラブ系セルビア人青年が暗殺
- オーストリアがセルビアに宣戦布告
- ⇒ **第一次世界大戦**(1914～1918年)

(2) 連合国(協商国) vs. 同盟国

…日本、アメリカ(のちに参戦)は連合国側

まとめ：

**まとめのヒント**：列強の間にどのような対立がもともとあったのか。何が戦争のきっかけになったのか。